

学校関係者評価

※ 評価Ⅲの基準

4:よく取り組んでおり、成果が大きい
2:取り組んでいるが成果が十分でない

3:熱心に取り組んでおり、今後が期待できる
1:取組が不十分である

学校関係者意見等	評価Ⅲ	学校関係者意見等	評価Ⅲ
<p>1 教育・学習内容を充実させ、確かな学力を身につけさせる</p> <p>・算数、理科の同室複数授業は大変良いと思います。 ・明城漢字ドリル、漢字検定は継続して意欲的に取り組まれている。 ・漢字ドリルの活用及び検定テストを実施していることが学力向上に貢献しているので今後とも続けていただきたい。 ・小中連携の研修会の開催継続を。 ・幼小中高合同で職員交流や交流行事を行い、学校園での連携を行い、さらなる前進を。 ・学力テストの活用力においては、問題を理解する力が劣っていると言うこともあるのではないのでしょうか。 ・家庭での学習が足りないように思いますので、保護者の協力、理解が必要だと思います。</p>	3.5	<p>5 家庭・地域・学校の連携を深め、信頼され、活力に満ちた学校園づくりに取り組む</p> <p>・地域とのつながり、開かれた学校づくりでは、地域に出での活動(ミニトライやる、明城遺産など)や授業参観、オープンスクール、児童会活動(なかよしラリー、明城まつり、交通安全感謝の会)などを通じて地域との交流を進め、地域の方々が学校に足を運びやすい環境ができています。 ・オープンスクール、図工展、明城まつり等地域の者が学校に訪問しやすい環境にあると思います。 ・両親が勤めている家庭が多い中、大変だとは思いますが、じっくりと進めてください。 ・先生方も真剣に取り組んでおられるように思います。</p>	4
<p>2 心の教育を充実させ、自己実現の意識の高揚を図る</p> <p>・道徳養育や縦割り活動を通じて、思いやりのある人間関係を作っていくことは大切であり、これからも続けてほしい。 ・道徳の時間は人間としての大切な学びであり、人間教育の場として大いに活用してほしい。 ・1年から6年までが縦割り活動(清掃やなかよしラリー)を通じて異年齢集団での行動で思いやり、優しい心、責任感を育むことを継続してほしい。 ・家庭においても、児童と保護者のコミュニケーションを図ってもらおう、学校便りや懇談会の時にその旨を伝えていただきたい。 ・道徳性の問題が注目されている中、差別、ルール作り等情報社会において、スマホ等による子ども同士のいじめの根を摘み取ることは必要だと思います。 ・保護者もともに学ぶ環境づくりをしていきたい。</p>	3	<p>■教育目標</p> <p>・「あいさつ」については、できる児童はいつもしているが、しない児童は学年が上がってもできない。声の小さい児童も多い。 ・「あいさつ」をしなければ、「あいさつ」をした人に失礼になることや、「あいさつ」の意味を教えていただきたいと思います。 ・三つの「あ(あいさつ、あつまり、あとしまつ)」を児童に指導するの必要ですが、保護者への三つの「あ」運動がより必要と思われる。 ・小学校で学習についていけなくなると中学校に入学してからも付いていけないので、特に算数と理科の同室複数授業は評価できます。</p>	3
<p>3 食育や体育を充実させ、健康な体づくりに取り組む</p> <p>・日常生活における家庭での基本的な生活習慣(あいさつ、早寝、早起き、朝ごはん)の大切さへの取り組み強化を。 ・学校長、教頭、教師の方が積極的に登校時の見守り、また、正門に立っている姿は児童により影響を与えている。 ・体の発達の重要な時期、早寝、早起き、朝ごはんの習慣も家庭生活においても啓発活動を行ってほしい。 ・切り干し大根等昔からの家庭料理を食べていない児童もあり、そういった日本食が給食に出ているので大変良いことだと思いました。 ・体育大会やマラソン大会等体力向上に力を入れていると思います。</p>	4	<p>■研究テーマ</p> <p>・道徳教育の時間を計画的に進め、また、指導方法も研究されている。 ・今後も道徳教育の継続が必要である。 ・社会、学校、家庭での道徳教育及び実践が必要。</p>	3
<p>4 安全な教育環境を確保し、防災意識の高揚を図る</p> <p>・児童は、集団登校をし、職員の方やボランティアの協力により児童の安全は勝っている。 ・「1. 17を忘れない」防災訓練を実施されている。 ・今の小学生はあまり大きな災害を知らないのではわからないが、避難訓練等を通して少しずつ身につけてほしい(東北での出来事は遠くのように思っている子どもが多いように思う)。 ・避難訓練を年3回実施で職員と児童の防災に対する意識を高めている活動は評価できる。 ・不審者対応訓練の充実を。 ・PTAからの支援も必要。</p>	3	■	
<p>評価項目 (A:優れている B:適切である C:おおむね適切である D:要改善)</p>	評価Ⅳ		
アンケート等、自己評価の根拠となる資料は適切か	A		
自己評価の結果の内容は適切か	B		
自己評価の結果を踏まえた今後の改善策は適切か	B		